

皆さんの意見を
反映させる
市議会を
傍聴しましょう

ひの 市議会だより

市議会だより 第84号

昭和61年7月27日
発行 日野市議会
日野市神明1-12-1
電話 (0425) 85-1111
内線 445-8

第2回定例会

下水道工事が進む

下水道工事関係の

契約議案を可決

昭和61年第2回定例会は、6月17日から6月27日までの11日間にわたり開かれ、審議が行われました。
さる5月29日には、61年第1回臨時議会が開かれました。今定例会と臨時議会での議案の中心は、生活基盤である下水道工事関係の契

約議案であり、61年度に入り議会で可決した下水道工事関係の契約金額は、10億8千158万円となりました。
最終日には、議員提出議案2件が上程され可決しました。請願は3件上程され継続審議となりました。

本会議の経過

今回の第2回定例会は、6月17日に招集され、会期を11日間とし、6月27日に閉会となりました。

17日の初日は、会期を決定し、次に市長から行政報告が行われ、これに対して7名の議員から質疑が行われました。主な質疑の項目は次のとおりです。

- ① 市内連絡バスの安全運行と路線変更した理由
- ② 宅地乱開発による市内地区混乱地区の生活基盤整備の具
- ③ 仲田緑地の留保地の利用計画
- ④ 老人給食事業（独居老人への宅配）の状況
- ⑤ ソ連邦の原発事故に対する抗議を考えているか
- ⑥ 市が補助金を出している、日野市商工会への運営指導
- ⑦ 高齢者事業団のリサイクル事業活動の問題点について

⑧ 放置自転車の処分方法
⑨ 生活道路の側溝やU字溝の清掃委託をすべきではないか

続いて、市長提出議案16件、請願2件が上程され、それぞれの担当委員会に付託しました。

18日～20日には、11名の議員から17件の一般質問が行われました。また、一般質問の後に議案4件が上程、請願2件も上程され、それぞれの担当委員会に付託しました。

23日～24日には、常任委員会が開かれ、付託議案、請願の審査が行われました。25日には、特別委員会を開催しました。

27日の最終日には、常任委員会に付託されていた議案、請願の審査報告が、総務文教、厚生、建設委員会の順に各委員長から行われました。今定例会では、即決議案、委員会付託議案を併せ、市長提出議案20件全部が各々、可決、承認、同意となりました。

また、前定例会で提出のあった請願1件と、今定例会の請願4件は、各担当委員会の継続審査となりました。

続いて、議員提出議案の意見書2件が上程され可決し、今定例会の日程を全部終了して閉会しました。

市長提出議案、議員提出議案は、4頁に記載
一般質問の内容は、2頁に記載
3頁に記載
（請願は、4頁に記載）

第2回定例会の主な議案と内容

教育委員・固定資産評価委員決まる

次の方々が選任されました。

【教育委員】

長澤 三郎氏（60歳） 住所 八王子市片倉町1394の110

小松 恒夫氏（61歳） 住所 国分寺市西元町二の7の19

【固定資産評価委員】

佐藤 信雄氏（70歳） 住所 日野市日野本町四の21の2

着実な歩み——高幡の区画整理

高幡土地区画整理事業に関する業務委託契約の締結

【契約の内容】

- ① 契約金額 45億8千500万円
- ② 委託期間 契約の日から69年3月31日まで
- 内訳 移転補償 21億6千100万円
- 事務費等 8億6千800万円
- ③ 契約先 東京都新都市建設公社
- 街路工事 8億2千200万円
- 公園その他 7億3千400万円
- （八王子市高倉町49の3）

40人学級即時完全実施に関する意見書

【意見書の提出に至る経緯】
61年3月に請願が提出されました。件名を「40人学級即時完全実施」のための日野市議会の意見書を求める請願」といいます。審査を委ねられた文教委員会は全員一致で採択しました（市議会だより83号既報）。この結果を踏まえ、6月27日の本会議において、文教委員会所属議員8名全員により提案されました。

【意見書の要旨】

国と都は40人学級を徐々に進めているが、その内容は①指定区域外の空教室のある小学校1年生 ②指定区域内の大規模校の中学校1年生、を対象とする内容となっているので、市民の願いとは程遠いものだ。よって、日野市議会は、40人学級を即時完全実施するよう強く要望する。

【意見書の提出先】

内閣総理大臣、文部大臣、東京都知事

国道20号線日野駅ガード下

歩道の整備に関する意見書

【意見書の提出に至る経緯】

日野駅ガード下の歩道は、通行量に比較して狭く不便なため、この改善を市議会としても何回か取り上げてきました。一方、市も国鉄などと相手に色々と努力していました。市議会の交通対策特別委員会は、市内の交通問題を調査、研究する中で（市議会だより 本号4頁）この改善を議会として建設省へ要望することを考えるに至りました。このため委員会所属議員7名全員により6月27日の本会議に提案したものです。

【意見書の要旨】

国道20号線日野駅ガード下歩道は、一人一人が通る程度の幅員しか確保されておらず、このため朝夕のラッシュ時には混雑をきわめ、一部車道を利用する等の現象もみられ非常に危険な状態に陥っています。この状況を早く解消し、市民が安心して利用できる歩道の拡張整備に着手されるよう日野市議会として強く要望する。

【意見書の提出先】

建設大臣



魚とりに興じる子ども達（新井地区）

第1回臨時会から

- 1、日野市市税条例の一部を改正する条例制定の専決処分報告承認
- 2、昭和61年度日野市一般会計補正予算（第6号）の専決処分報告承認
- 3、昭和61年度日野市一般会計補正予算（第1号）の専決処分報告承認
- 4、仲田緑地築造工事請負契約の締結
- 5、多摩平下処理場施設改修工事請負契約の締結
- 6、落川排水区（61の1）工事請負契約の締結
- 7、大栗四号処理区分区（61の1）工事請負契約の締結
- 8、大栗四号処理区分区（61の3）工事請負契約の締結
- 9、日野第二日野台処理区分区（61の1）工事請負契約の締結
- 10、昭和61年度日野市公共下水道事業（事業の一部）に関する業務委託契約の締結

一般質問要旨

市政全般について、今定例会では11名の議員から17件の質問がありました

竹ノ上 武俊

(日本共産党)

円高不況と市内勤労者・業者の実態について問う

問1、市内の中小企業の円高不況による影響と対策について問う。

問2、国、都に対し、融資制度の活用依頼や円高差益の還元を求めているか。

答、生活環境部長

答1、円高不況を受ける企業の実態調査は、特に実施していないが、市内に影響を受けていると思われる業者は7社です。市では、小規模事業者育成条例等に対応します。

答2、国や都にも企業への融資制度があるので、市でも制度利用の紹介を行います。

答、市長

市の財政に寄与されている企業や、これをききえている中小企業です。市としてもできるだけの努力をします。

大型間接税導入の地方自治体に与える被害について問う

答、市民部長

導入された場合は、所得の非課税世帯に大きく影響すると考えられます。

答、市長

一般大衆課税の間接税は、税の徴収方法として行い易いだろうが、国民としては、大変な負担です。財政再建は課税ではなく、事業費を削って財政を考えるべきであると思います。

「国鉄民営化」と日野市について問う

問1、国鉄民営化になった場合、仮称西豊田駅建設計画はどのようなものか。

問2、私は委員8人による多数決で、4月30日に委員8人の答申と、委員1人の答申とが提出された。分裂答申をどう思うか。

問1、私は委員8人による多数決で、4月30日に委員8人の答申と、委員1人の答申とが提出された。分裂答申をどう思うか。

問2、私は委員8人による多数決で、4月30日に委員8人の答申と、委員1人の答申とが提出された。分裂答申をどう思うか。

馬場 弘融

(自由市民会議)

行財政調査会の最終答申をどう生かすか(より良き日野市政のために)

問1、4月30日に委員8人の答申と、委員1人の答申とが提出された。分裂答申をどう思うか。

問2、私は委員8人による多数決で、4月30日に委員8人の答申と、委員1人の答申とが提出された。分裂答申をどう思うか。

農水省跡地(留保地)の今後の利用計画について問う

市長は61年3月の市議会でも、仲田緑地の整備に住宅・都市整備公団の高層住宅を誘致することにより、財政負担の軽減を図りたいと発言した。これについて、次の点を明らかにされたい。

問1、ここに建設する体育館の費用は幾らか。

問2、この土地は緑地指定になっているが、そこに住宅を建てられるのか。

問3、東町を含め周辺の環境整備をどう考えているか。

答、都市計画課長

答1、総額49億円で、内訳は次のとおりです。

①用地費32億1千800万円

②建設費16億8千200万円

③既に緑地と決めているので、ここに住宅を建てるためには、それ相応の手続きが必要となります。

答、市長

古賀 俊昭

(自由市民会議)

革新・森田市長の程遠い行政改革

問1、行財政調査会の分裂答申(二本立て答申)をどう受けとめるのか問う。

問2、答申を受け策定する、行財政推進要綱の策定期間及び内容と財政効果を問う。

問3、職員定数のあり方を、どのように考えるか。

問4、違法な給与制度と、市民の批判の強い有給夏休み(9日)は圧縮していくのか。

答、市長

答1、答申の内容は、現在の市政の方向と大きな違いはなく、2つの答申を尊重し、効率的な行政の指針とします。

答、企画財政部長

問2、行政改革推進本部専門部会をつくり、行政の項目別に検討を加えて、本年秋には結論を出していきます。行政改革による財政効果は現在、具体的には考えていません。

答、総務部長

問3、答申を受け、定数の見直しは行っていくが、事業や事務量の増大する部署、たとえば、新設の健康センターや区画整理事業、下水道事業等は、職員の配置、増員を考えて行く必要があると思います。

答4、給与も徐々に低くなつて、ラスパイルズ指数も低下しています。給与全体を見ながら組合と交渉していきます。夏休みは昨年と同じ日数です。

老人クラブ連合会の文化活動を積極的に支援せよ

答、福祉部長

老人クラブ全体には、本年千400万円の補助金を出しており、今後でもできるだけ補助していきます。

敬老福祉大会には、おみやげはだせないが、お茶の用意や内容の充実を図っていきたいと考えています。

答、市長

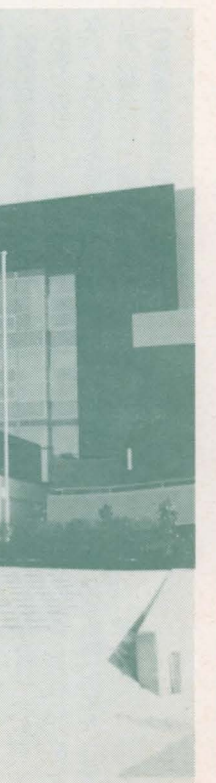
単位組織の老人クラブのみを見るのではなく、老人福祉全体で補助を考えています。

奥住 日出男

(市民クラブ)

私道整備事業について

私道の整備については、日野市私道整備事業補助制度な



4月1日からの新校舎一都立南平高校一

一ノ瀬 隆

(革新クラブ)

自前の政策研究への道を確立せよ

現在までの地方自治体は、中央省庁が決めた政策を通して、市が執行するカタチをとっており、市は国の政策の末端執行機関とされてきた。

近年この状態から抜け出し、自治体も自前の政策をもつとする動きが出てきています。そこで市職員をして、市が自前の政策研究を行う体制を確立する必要があると考えます。

問1、日野市の中での自前の政策研究はいかになされているかを問う。

問2、政策研究についての今後の考え方を問う。

問3、政策研究というには不

充分であるが、行財政調査会の職員組合役員の内山委員の答申をどのように尊重するか。

答、企画財政部長

答1、自治体が市民ニーズに基づいて、計画実行される事務事業を政策とするならば、現在までにプロジェクトチームを作り、多くの行政遂行にあたってきました。

答2、市長を中心にして、組織を通じ、自前の政策を展開するには、職員は能力の向上と専門的知識を身につけなければならぬと考えます。今後は職員の職場研修、職場外研修を通じ、自己啓発に努め能力開発を図り、政策の遂行を進めてまいります。

答3、内山委員の答申についても、行財政改革の作成にあたり尊重してまいります。

答、市長(全体を通して)

日野市のまちづくりも、年度計画を立てて行政を進めております。

政策形成のプロセスとして仕事を進め、各々の職場で職員には、参加してもらって

今後は、地方自治体として独自の政策を立案し、行政に表していくようにと努力してまいります。これらを遂行することが、市民要望にこたえていくものと考えています。



谷 長一

(自由市民会議)

地域の諸問題について

地域の諸問題が住民の選んだ議員を通じ、請願という形で出てくる。オリエント時計周辺の道路整備については、小俣昭光議員と私が紹介議員となつて強く市議会に働きかけた経緯がある。

そのかいがあり、昭和60年から具体的に改良が始まった。

現状を点検しながら、今後の問題点を聞いていきたい。

問1、オリエント周辺道路の整備予定はどのようか。

問2、中央道南側の川の悪臭対策を考へよ。

問3、日野郵便局北側の用水と川崎街道が出会う場所は、水があふれ出る可能性がある。この対策として根川に分水する建設部長は発言したが、分水できる時期は何時か。

問4、交通事故は社会の責任で未然に防止することが大切だ。児童、生徒を守るとい

う行政の姿勢が欲しいと思う。市長の考えはどうか。

答、建設部長
答1、62年度から市の事業として周辺道路を直す計画です。その前の段階として、既にオリエント時計(株)が工場北側の擁壁工事を今年度中に終えます。擁壁工事が済むと周辺道路を整備する段階に入ります。必要ならオリエント時計に協力していきます。

答2、谷長一議員指摘の場所は、日野450から同52番地地帯です。問題点を整理して改修へ持っていくと思います。

答3、悪臭対策として年2回掃除をしています。指摘の場所について見回りを強化します。

答4、今年度の梅雨期の対策として、土のうを積みだりしていきます。将来は根川に分水して水を防ぎ考えます。

答、市長
答1、2、3、4、あらゆる手段で考えめくらし、児童、生徒の交通安全を図っていくように努力します。

山口 達夫

(自由市民会議)

行財政改革について(行財政調査会の最終答申を受けて)の積極的対応策を問う

問1、行財政改革は難しい課題であるが、遂行のための意気込みを問う。

問2、行革推進は、通常の業務を行いつつ対応していくのか。

問3、答申を受けての行財政改革の目標値を問う。

答、市長
答1、行財政改革は、常時行つべきであると思います。今回の答申は、戦後から続いた行政の見直しと、21世紀に向けての行政改革の策定のためであり、62年度の予算編成にこれらの結論を反映できるように努力してまいります。

答、企画財政部長
答2、初めの予定では、行財政調査会と行財政推進本部を並行して進めようと考えていたが、調査会の答申を尊重しうに努力して行きます。

ながら進めた方がよいと考え、この議会が終了した頃から行財政推進本部を活動させようと考えています。

答3、当初に目標値を持つべきであると考えますが、行財政改革の目標値の考え方から見て、各市でも当初から目標値は掲げずに始めており日野市でも効果や目標値を定めておりませんでした。

問1、市民参加の区画整理事業の方策を問う。

問2、区画整理とまちづくりが並行して遂行されていくのか。

答、市長
答1、この地区の計画を発表して10年が経過しており、発表から2年後には準備会も発足し、住民の意見を反映して来ましたが、今後も住民の意見を尊重して進めて行きます。

答、下水道・区画整理課長
答2、下水道、共同溝等も区画整備事業と並行して進むように努力して行きます。

鈴木 美奈子

(日本共産党)

障害者の参加の住宅づくりに、高幡市営住宅の障害者用住居の改善について

近年の実態としては、臨調行革路線のもとで障害者が切り捨てられている。

私は過去にも障害者の問題を質問してきたが、引き続き取り上げたい。

問1、向川原市営住宅のこと。

問2、この建設部長の発言があった。この作業の進捗具合、今後の段取りを聞きたい。

問3、設計、建設に際し、入居する障害者の方々に合わせた住宅に改造していくため、募集を早目にし、その方達の意見を聞くことを考えているか。

問4、既に障害者の方が入居済みの高幡市営住宅について。

問5、車イスの利用者の駐車場が狭いと思うがどうか。

問6、風呂の改善

今のシャワー式だが、使いにくく、季節によっては寒い。普通の風呂にできないか。

問7、高幡市営住宅も含め、管理人を置いての方が障害者自身には便利と思うがどうか。

答、総務部長
答1、設計に入りしました。そのなかに、障害者、母子、老人用を含ませています。

62年6月までは入居者の募集をする予定です。

問2、先ず入居を決め、その方の意見を聞くことも含めて考えます。

答2、鈴木美奈子議員指摘の通りです。広げる方向で努力しています。

問3、住民の皆さんの連帯を育む

よう配慮しています。効果については、長い目で見ていただきたいと思います。

答、市長(全般)
日野の市営住宅は、建て替え時期に入っています。この時期に、今回、話題となりました向川原住宅をはじめとして障害者、老人、母子家庭などの福祉施策を取り入れる必要があると考えています。

問1、私道の整備を促進するために

近年、議会や請願・陳情で多くの私道の整備が取りあげられております。

これはとりもなおさず、住民生活に支障を生じているからと考えられます。昭和47年に私道整備の交付要綱が策定され、年々改善され、現在では補助率が75%までにアップしてまいりましたが、交付要綱だけでは、住民の新しい整備の要望に応えられなくなつて来ているからと考えます。

そこで、市の施策の中で、住民要望を取り入れた、私道の整備を強く推進させるべきと考えています。

問1、私道整備交付要綱の見直しや改善を考えているか。

問2、現在未舗装の道路についてどのように考えるか。

答、建設部長
答1、現在、私道を市が公道として認定し、公道と同じく整備を行っている現状であります。しかし地権者の了解はあっても、行き止り道路、U字形の道路、くの字形道路で公道から入って、公道にもどる道路にも補助金を交付しておりますが、担当者としては一律の補助率75%が良いものかと考えており、今後、他の道路整備にあわせて研究させていただきます。

板垣 正男

(日本共産党)

答、市長
問2、私道でも通過道路や近隣の方々が利用する生活道路の違いや公道としての優劣はあるが市はこれらを合せ、舗装に努めております。

担当者、土地所有者の私権もあり、一律金額での補助については疑問を持っています。又、土地所有者においても、区画整理等で、個人の土地としての利用が出来ると考えておられるのか推測の域は出ません。しかし、市としては、いったん宅地のために提供された道路であり、早く市に寄付され、公道として地域住民のために舗装整備をして利用されることを願うものです。

小俣 昭光

(日本共産党)

市民の親しみのある浅川利用計画について

日野市には日野市における浅川の位置づけと、浅川を守り、活用する考えをまとめた「浅川利用計画」(以下、計画と略す)が作られている。

次の質問をする中で、現状と課題を明らかにしたい。

問1、計画には、市の象徴として浅川親水公園を造るとしている。計画を具体化するた

めには、河川の管理者である建設省の許可が必要だ。その交渉はどのような状況か。

問2、親水公園内の大名淵に、つり橋などを造るとされているが、どうだったか。

問3、サイクリング道路は?

問4、建設が進んでいるが、今後の工事予定はどのようか。

問5、堤防が浅川に沿って所々切れ、二重になっている所があるが堤防間を連絡できないか。(かすみ堤について)

問4、建設省の工事のために濁合橋上流のグラウンドが無くなった。再び、子どもが遊ぶようにならないものか。

答、建設部長
答、(全般)
浅川の利用については、建設省と継続して話し合っています。60年11月以降、幾度も建設省に出向しましたが、最近、日野市としての資料も届けました。以下、具体的にお答えいたします。

答1、2、交渉段階としては、なお途中にあるといえます。

答3、59年度を一年目として具体的に着手しています。完成すると総延長は、6300mになります。

問2、建設省とは南平駅北側の堤防の連絡について具体的に交渉しています。

答4、小俣昭光議員指摘の通り、確かにグラウンドとして使える部分は小さくなつてしまいましたが、建設省と色々交渉していますが、難しいものがあります。その最大の障害は、いざ大増水した際の対策はどうするのか、ということです。

これが建設省が慎重な態度をとる根拠と思われる。

小山 良悟

(自由市民会議)

目に余る土地開発公社のずさんな運営、納得できない、666万の負担!

見直しをせよ、行政の守備範囲!

小山議員の一般質問は、助役突然の死亡の悲報により、市長、助役に関係が深い質問内容のため、具体的な内容の質問は行いませんでした。



6月行なわれた日野市の水防訓練(多摩川河川敷)



中央公園に咲くオオバギボウシ(ユリ科)



常任委員会の審査状況

請願・陳情

総務委員会

継続

◎他市に通園する無認可保育園、5歳児・4歳児・3歳児に対する補助金の助成増額に関する請願

建設委員会

継続

◎程久保662番地地域山林緑地保存に関する請願

◎「私道の公道移管と公園作成」に関する請願

◎市道新井第29号線の暗き排水施設に関する請願

厚生委員会

継続

◎シベリア抑留者の恩給加算改訂に関する請願



東光寺河川敷を現場調査する
スポーツ・公園対策特別委員会

市民の願いは……

請願・陳情を追って

市民が議会に請願や陳情を提出し、議会が採択した場合、一般の行政機関に提出された要望や請願と異なり、議会の審議を経て、議会の意思が加わっているため、市長やその他の関係執行機関は、この意思を尊重して処置に当らなければならないことになっています。

日野市議会に過去3カ年の間に提出された請願、陳情は90件であり、議会が採択し議長名をもって関係機関に適切な処置を求めたものは70件になっています。

ここで関係機関で、請願、陳情をどう処理されたかを追ってみたい。

〔件名〕日野第二小学校校内の整備に関する請願

〔内容〕日野第二小学校の教室や廊下の床が木くずれに食いつ荒され、床の全面改修を要望した請願でした。

この請願は、第二小学校PTAの方々と2千152名から提出されたものです。

〔経過〕昭和60年9月12日付で提出され、9月議会に上程しました。内容が教育施設に関する請願であり、文教委員会に付託されました。文教委員会では、現場調査や関係者のお話を聞き、審査を行った結果、この請願は採択としました。

同年10月9日の本会議で採択され、関係当局に適切な処置をするよう通知しました。

〔結果〕床のフローリングブロック貼の3千500㎡の内、早急に貼り替えが必要と思われる約850㎡を昭和61年の夏休みに貼り替え工事を行う予定になりました。

〔件名〕①循環バスに関する請願

②市内循環バス路線の早期実現を求める請願

③日野駅―豊田駅を結ぶ市内バスを速かに運合橋經由平山城址公園駅まで延長し、私たちの南北交通の足を確保するための請願

④循環バス市案に加え全市の循環バス実現を願う請願

〔内容〕右の4件の請願は、市民生活における、交通網の整備を要望する請願です。特に日野市内では南北のバス等、市民の足の確保ができておらず医療機関、公共施設、金融機関の利用や日用品の調達に不便し、自動車を持たない学生、主婦、老人などには、深刻な問題となっています。

これら4件の請願は、4千719名の方々からの請願です。

〔経過〕昭和58年9月、59年12月、60年3月、60年9月と内容を同じくする請願が順次議会に提出され総務委員会に付託、審査の結果採択としました。この4件の請願は、議会でも採択し、関係当局に適切な処置をするよう通知しました。

〔結果〕市においても、市内循環バスのあり方を、市内循環バス検討委員会に諮問し答申を受け、請願内容を十分考慮し、次のような結論をだしました。運行は61年8月頃、京王平山城址公園駅から京王高幡不動駅の往復26・8kmを京王帝都株式会社が行い、費用は市から当面、年間一千万円を負担、その他は運賃で賄います。

今定例会で議決した議案

市長提出議案

承認
可決
同意
可承
同

1、日野市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定の専決処分
の報告承認(承)

2、昭和61年度日野市一般会計補正予算(第2号)の専決処分の報告承認(承)

3、日野市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の
制定(可)

4、日野市営住宅条例の一部を改正する条例の制定(可)

5、日野市市税条例の一部を改正する条例の制定(可)

6、日野市営火葬場使用条例の一部を改正する条例の制定(可)

7、日野市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定(可)

8、昭和61年度日野市土地地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)(可)

9、昭和61年度日野市農業共済事業特別会計補正予算(第1号)(可)

10、市道路線の一部廃止(可)

11、市道路線の廃止(可)

12、市道路線の認定(可)

13、日野都市計画事業高幡土地区画整理事業に関する業務委託契約の締結(可)

14、日野市教育委員会委員の任命(同)

15、日野市固定資産評価審査委員会委員の選任(同)

16、日野市役所支所の設置及び所管区域に関する条例の一部を改正する条例の制
定(可)

17、日野市立地区センター条例の一部を改正する条例の制定(可)

18、日野市遊び場条例の一部を改正する条例の制定(可)

19、万願寺地区区画街路築造第14号及び水路築造第9号工事請負契約の締結(可)

20、大栗四号処理分区(61の2)工事請負契約の締結(可)

議員提出議案

(可決された意見書は、各々の
関係機関に送付しました。)

1、40人学級即時完全実施に関する意見書(可)

2、国道20号線日野駅ガード下歩道の整備に関する意見書(可)

特別委員会中間報告(要旨)

◎交通対策特別委員会

交通対策特別委員会は、今後大きく5つのテーマを掲げ、活動を進めてまいります。この中で市民の要望も多く、緊急を要する問題として「日野駅ガード下、国道20号線の歩道拡幅」を取りあげました。

現在、建設省の中では、この問題がどのように扱われているか、またどのような方向で解決していくのかなど建設省相武国道事務所の説明を受けました。当委員会として、この問題の解決のために、調査、研究を進めた結果、次のことを決定しました。①日野市議会として、建設大臣に意見書を提出する。②委員会として、相武国道事務所長に要望書を提出する。③日野駅を利用している市民の要望書を取りまとめる。

以上を決定し、今後の進め方は常任建設委員会、市の執行部と連携を持って、問題解決に努力していきます。



交通対策特別委員会の現場調査
(日野駅ガード下)

編集後記

今定例会は、開会前日まで都議会議員補欠選挙中であつたこと、また、開会中には衆議院、参議院議員選挙が公示され、あたたか梅雨空をはねかきすかのうように鳴る選挙運動車のスピーカーで、大変忙しい議会でありました。

この議会だより84号を皆さんの手にお届けする頃は、真夏の太陽が海山に誘う最盛期になります。

家族や友人と夏休み等を利用した楽しい計画を立てのんびりと思いますが、思い出れるひと夏をお過ごしください。

次の定例会は9月に予定されております。おりをみて議会の傍聴にお出かけください。

これからも読みやすい市議会だよりの編集に努力してまいります。皆様のご意見、ご感想をお待ちしております。